

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	邦楽
----	------	----	----

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	C区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	有	応募総企画数	3企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっばんしゃだんほうじん えくすとらっど		団体ウェブサイトURL
	一般社団法人EXTRAD		
代表者職・氏名	代表理事 大藏基誠		
制作団体所在地	〒 107-0062	最寄り駅(バス停)	青山学院中等部前
	東京都港区南青山7-5-4 ライオンズマンショングランフォート南青山501		
電話番号	03-5467-8270		
ふりがな 公演団体名	さくらこまちわがくだん		団体ウェブサイトURL
	さくらこまち和楽団		
代表者職・氏名	荒井ふみ子		
公演団体所在地	〒 制作団体に同じ	最寄り駅(バス停)	制作団体に同じ
	制作団体に同じ		
制作団体 設立年月	2019/3/1		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	代表理事 大藏基誠 理事 清水宗典		会員の過半数の出席により、承認された芸術家および舞台関係者。
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者 を置く	本事業担当者名	浅岡雄亮
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	大藏基誠
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	extrad.hq@gmail.com		

<p>制作団体沿革・ 主な受賞歴</p>	<p>●一般社団法人EXTRAD 2019年3月二十五世大蔵彌右衛門の次男・大蔵基誠を代表理事、観世流シテ方職分武田宗和の長男・武田宗典を理事に、日本に古来より伝わる文化・芸能に触れる機会の創出を目的として設立。 日本文化をより身近に感じてもらうために、本質を見失うことなく、斬新かつ多様なアプローチで公演・イベントを企画し、各地で好評を得ている。 現在は、国内の文化教育や、海外への日本文化の正しい伝播にも力を注いでいる。</p> <p>●さくらこまち和楽団 1995年、NHK邦楽技能者育成会の女性卒業生を中心に、日本の伝統音楽・伝統文化を紹介していくことを目的に「NHK伝統和楽団」として誕生。三度にわたる海外公演、放送番組出演とキャリアを重ねる。 2008年、展開推進を目的とし、NHKに限らず、日本文化をより広く紹介しようと「21世紀伝統和楽団」を結成、活動を開始。優れた表現力は、国内外で高い評価を受け、2011年NHKBSで、その活動が紹介される。 2014年 舞踊部門を切り離した「さくらこまち和楽団」が誕生。以降、学校公演と海外公演で活動している。 平成26年度 文化芸術による子供の育成事業参加 20校 平成27年度 文化芸術による子供の育成事業参加 18校 平成28年度 文化芸術による子供の育成事業参加 15校 平成29年度 文化芸術による子供の育成事業参加 23校 平成30年度 文化芸術による子供の育成事業参加 17校</p>					
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>2011年 麹町学園中学校、多摩大学附属聖ヶ丘中学・高等学校 パジャジャラン大学(インドネシア・バンドン)、ピヌス大学(インドネシア・ジャカルタ) 2012年 山梨県白根御勅使中学校 ホーチミン市音楽院、ホーチミン師範大学、ホーチミン人文科学大学(ベトナム・ホーチミン) 2016年 ミラノ大学(イタリア・ミラノ)、オリエンターレ大学(イタリア・フィレンツェ) 2018年 HF教育プログラム「スクールツアー」オアフ島中の小中高生1,100名対象(アメリカ・ハワイ) 直近 令和6年度予算事業「伝統文化親子教室事業(地域展開型)」採択</p>					
<p>特別支援学校等 における公演実績</p>	<p>2014年 三重県立城山特別支援学校学校 草の実分校 大阪府立富田林支援学校 2016年 北海道白糠養護学校 2018年 長崎県立鶴南特別支援学校</p>					
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>				
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://youtu.be/Pnf9_UrrLmw</p>				
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<table border="1"> <tr> <td>ID:</td> <td></td> </tr> <tr> <td>PW:</td> <td></td> </tr> </table>	ID:		PW:	
ID:						
PW:						

別添	あり
----	----

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 さくらこまち和楽団】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○

企画名	邦楽いろは～初めての和楽器体験～			
-----	------------------	--	--	--

企画のねらい	邦楽は、日本の風土に生活し、日本語を母語とする人々の音に対する感性がかたちにされたものです。それゆえ、子どもの身体に潜んでいる感性を呼び覚まし表現するのに、邦楽は最適な音楽だといえましょう。 この企画では、「日本の伝統的な音楽」にふれる機会の少ない子どもたちに音楽の授業でも馴染みのある古典曲・民謡・わらべうた・現代曲を中心に選曲し多彩な邦楽器(箏・尺八・太鼓・三味線・唄)によるアンサンブルで楽器の響きの美しさや日本人固有の感性の魅力に出会ってもらいたいと思います。 また児童生徒参加型の体験では単に楽器や唄を演奏できるようにするのではなく、子どもが楽器や唄にかかわることで音がいかにも音楽になっていくかというプロセスを体験しながら、その過程を通して思考力や感受性を育成することを目指します。			
--------	---	--	--	--

演目概要・演目選択理由	音楽の教科書、小中学校採用の2社に掲載されている曲を参考に構成しました。 (掲載曲)小学校低学年「わらべうた」「祭囃子」、小学校高学年「津軽じよんから節」「さくらさくら」「春の海」「ソーラン節」「刈干切唄」、中学校「鹿の遠音」「六段の調」「ソーラン節」「刈干切唄」 また、久石譲作品も児童生徒の認知度が高く邦楽器との相性も良いため採用しました。 児童生徒参加型の演奏においては「さくらさくら」を教材とし、二つの音で演奏することから始められるため、小学1年生から中学生まで、どの学年からでも学ぶことができます。			
-------------	---	--	--	--

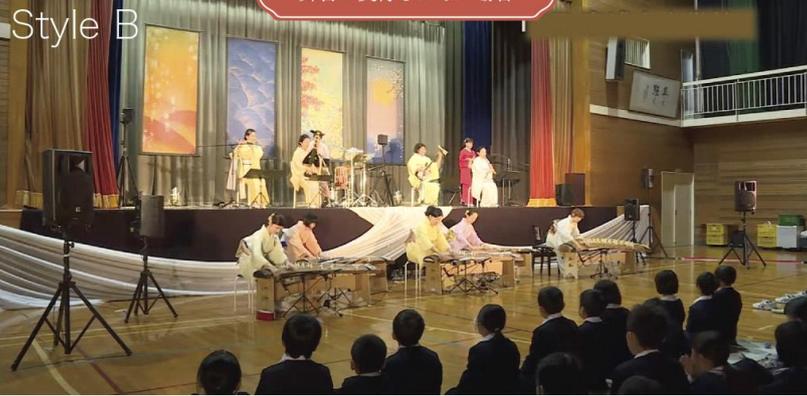
児童・生徒の参加又は体験の形態	<ul style="list-style-type: none"> ●楽器体験コーナー:代表児童生徒に箏・太鼓に触れて音を出します。 ●練習の成果を発表しよう! :ワークショップで「さくらさくら」を練習した代表児童生徒は本公演で演奏家と合同演奏します。 ●声に出して歌ってみよう!:「ソーラン節」は民謡の歌唱法や手拍子の指導をしながら会場全員で唄います。 			
-----------------	---	--	--	--

児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	参加～全校生徒児童・体験10名程度
		鑑賞人数目安	600名

本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>1)日本の音を聞いてみよう!～オープニング演奏(10分) 先ずは邦楽器によるアンサンブルをお馴染みの曲とともに聞いていただきます。</p> <p>「さくらこまちのテーマ」(オリジナル)作曲・編曲:百石元 「編曲 元禄花見踊」作曲・編曲:坂本勉</p> <p>2)日本の楽器ってどんな音色だろう?～各楽器の紹介と演奏(15分) 各楽器の説明と代表的な曲で音色を聞いていただき特徴を知っていただきます。</p> <p>箏「春の海」作曲:宮城道雄 尺八「甲乙」作曲:初代山本邦山 津軽三味線「津軽あいや節」</p> <p>3)※触ってみよう・鳴らしてみよう!～楽器体験コーナー(10分) 箏・太鼓に触れていただきます。</p> <p>4)※練習の成果を発表しよう!～代表児童・生徒との共演(10分) ワークショップで練習した曲を演奏家と一緒に発表します。</p> <p>「さくらさくら」日本古謡 <休憩></p> <p>5)ザ・にっぽんの民謡～日本列島ふるさとの唄(10分) 学校周辺の地域に伝わる民謡と日本列島北から南から代表的な民謡をメドレーで聴いていただきます。</p> <p>「あなたの町の民謡」 「おくにめぐり～江差追分・秋田おぼこ・花笠音頭・磯節・佐渡おけさ・山中節・安来節・刈干切唄・牛深ハイヤ節など代表的な曲の中から教曲選曲」(民謡メドレー)</p> <p>6)※声に出して歌ってみよう!～民謡体験コーナー(10分) 学校でもお馴染みのソーラン節を民謡や手拍子の指導をしながら一緒に唄います。</p> <p>「みんなで唄おうソーラン節」</p> <p>7)なんでも聞いてみよう!～質問コーナー</p>			
-------------------------------	--	--	--	--

	<p>8)みんな知ってるこのメロディー～邦楽器で聴くあの曲この曲(15分)</p> <p>「わらべうたメドレー」編曲:秋岸寛久 「ジブリメドレー」作曲:久石譲 編曲:秋岸寛久</p> <p>9)これからの邦楽、現代曲を聴いてみよう！～エンディング演奏(5分)</p> <p>「夢の輪」(現代曲)作曲:沢井比河流</p> <p>※は児童生徒参加・体験のプログラムです。 休憩時間は児童生徒の数、学校の要望により設定します。</p> <p style="text-align: right;">公演時間 90 分</p>					
<p>出演者</p>	<p>【箏】磯貝真紀、福田優子、山野安珠美、三浦可栄、小池摩美、神谷 舞、中しまりん (上記のうち出演者3名をスケジュールに合わせて選出)</p> <p>【尺八】櫻井咲山 【太鼓】荒井ふみ子 【津軽三味線】今宮知佐衣 【民謡】中村仁美</p>					
<p>演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名</p>	<p>三隅治雄(監修) 文学博士。東京文化財研究所名誉研究員、(公財)ポーラ伝統文化振興財団理事、(公財)三菱UFJ信託地域文化財団 理事、(公財)日本民謡協会 前理事長。</p> <p>荒井 ふみ子(打楽器) 現代邦楽を西川啓光、長唄邦楽囃子を藤舎華鳳、寿獅子を鈴木恭介に師事。NHK民謡番組「民謡魂」「民謡たずねて」に出演中。汐文社より「和楽器にチャレンジ」執筆。</p> <p>磯貝 真紀(箏・十七弦箏) 5才より倉内里仁に師事。後に沢井忠夫・一恵両師の内弟子となる。国際交流基金の派遣等により約20カ国の音楽祭等で演奏。人気ゲーム「太鼓の達人」他レコーディング多数。</p>					
<p>本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数 含む</p>	<p>出演者: 7 名 スタッフ: 3 名 合 計: 10 名</p>		<p>運搬</p>		<p>積載量: 1 t 車 長: 4.3 m 台 数: 2 台</p>	
<p>本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安</p>	<p>前日仕込み 無</p>		<p>前日仕込み所要時間</p>		<p>時間程度</p>	
	<p>到着</p>	<p>仕込み</p>	<p>上演</p>	<p>内休憩</p>	<p>撤去</p>	<p>退出</p>
	<p>9:55</p>	<p>10:00～12:00</p>	<p>13:30～15:10</p>	<p>10</p>	<p>15:10～16:00</p>	<p>16:05:00</p>
<p style="text-align: center;">※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。</p>						
<p>本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)</p>	<p>6月</p>	<p>7月</p>	<p>8月</p>	<p>9月</p>		
	<p>20日</p>	<p>20日</p>	<p>0日</p>	<p>20日</p>		
	<p>10月</p>	<p>11月</p>	<p>12月</p>	<p>1月</p>		
	<p>20日</p>	<p>20日</p>	<p>20日</p>	<p>20日</p>		
	<p>※平日の実施可能日数目安をご記載ください。</p>			<p>計</p>	<p>140日</p>	

舞台の奥行きがある場合



舞台の奥行きがない場合

児童生徒と共演の様子



公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。

著作権、上演権利等の許諾状況	各種上演権、使用权等の許諾手続きの要否	該当あり	該当コンテンツ名	現代曲の演奏
	該当事項がある場合 権利者名	JASRAC	許諾確認状況	採択後手続き予定

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名 さくらこまち和楽団】

ワークショップのねらい	普段から西洋音楽やPOPSにふれている子どもたちが「本物」の日本の音を「聴いて・唄って・奏でる」ことによりその音色の豊かさ、演奏技術の多様性、視覚的な美しさ、文化的背景に興味を深めるとともに、子どもが楽器や唄にかかわることで音がいかに音楽になっていくかというプロセスを体験しながら、その過程を通して思考力や感受性を育成することを目指します。		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	100名
ワークショップ実施形態及び内容	<p>講師による演奏「うさぎ」 箏・太鼓・尺八(計3名)(5分) 冒頭は邦楽の生の音を聞いてもらいます。</p> <p>それぞれの楽器の解説(5分) 「さくらこまち和楽団」の紹介とともに講師が持参した楽器の音を解説を交えながら聞いてもらいます。また本公演での演奏されるそのほかの楽器紹介をします。</p> <p>実際に触れて鳴らしてみよう!(15分~20分) 箏・太鼓を体験してもらいます。</p> <p>本公演での共演に向けてのリハーサル(20分) 箏・太鼓・リコーダー・唄のグループに分かれて共演曲「さくらさくら」のリハーサルをおこなう。</p> <p>-----</p> <p>ワークショップでは「子どもたちとともにつくる」という観点を大切に実践します。 共演曲では子どもたちが邦楽器を通じて自分の出す音に気を付け、演奏の仕方に心を配り、友達の出す音に耳を傾けることができるよう以下のように工夫します。 1)技能レベル差を感じずに、比較的安易に演奏に取り組めるようにする。 2)限られた音の構成の中で演奏できるようにする。 3)比較的安易な旋律やリズムで他のパートの音も「聴く」ことができるようにする。 4)日本人が持つ感性を感じとれるようにする。</p>		
その他ワークショップに関する特記事項等	C区分では本公演当日にワークショップを行うことを前提に、事前に課題曲や練習内容の情報を学校側に提供し、時間内に子供たちが実演できるよう工夫をいたします。		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

本事業への応募理由

【公演団体名

さくらこまち和楽団

】

本事業に対する
取り組み姿勢、および
効果的かつ円滑に実
施するための工夫

①本事業に対する取り組み姿勢

学習指導要領の改訂により伝統音楽を教材とした実践が増えている中ではありますがいまだに十分ではなく、地域の高齢少子化による民俗芸能の衰退、習い事としての伝統文化の需要の減少なども相まって子供たちが邦楽に触れる環境は少ない状況が続いています。

現代では子どもたちの多くが好むものは西洋音楽を基調としたポピュラー音楽であり、また日常においてその多くはデジタルのデバイスによって耳に届くものがほとんどです。本プログラムでは、ライブで聴く邦楽の音色の美しさ、皆で唄う民謡の楽しさ、普段触ることのない楽器に触れ音を奏でるワクワク感「全てが本物、全てがリアル」を体験し、日本の音楽が持つ魅力を子供たちに「聴いて・唄って・奏でて」感じてもらいたいと思います。そして日本には独自の音楽や楽器があり、またそれぞれの楽器の演奏家、楽器の製作者がいるんだということも知ってもらいたいと思います。また実践的な学びの機会を通じて子どもたちが豊かな感性と文化や歴史を理解し、地域社会への愛着を育てる文化的理解を深めることを望みます。

②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫

●15年以上のキャリアのある学校公演専任の担当者が電話、メール等で事前ヒアリングをして実施校の要望や公演場所の状況・設備、搬入経路、周辺の環境を確認します。その上で出演メンバーと情報共有してワークショップ、本公演の準備をします。過去実績のノウハウを活かし円滑な運営を実施します。

●ワークショップにおいては児童生徒全員が楽器にふれることが出来るよう工夫いたします。また本公演でも児童生徒が等しく体験機会を得られるような曲目を必ず設けます。

●ワークショップ終了時に本公演に向けて練習した曲のおさらい用の楽譜、演奏法の映像のURLなど児童生徒に渡して、本公演までの間に復習ができるようにします。

●舞台は30年以上のキャリアがある舞台監督が担当。安全を最優先に考え、怪我等の無いよう、楽器・大道具・機材や導線などへ注意を払います。また児童生徒たちにも安全に関するルールや指示を明確に伝えます。

●楽器体験、共演、質問コーナーなど児童生徒参加のプログラムでは、児童生徒の言葉や表現方法に適応し、コミュニケーションを円滑に行います。児童生徒が理解できるように、分かりやすく説明したり、質問に答えたりします。

●学年・小学校・中学校あるいは支援学級の有無など、それぞれの状況に合わせた体験・演出を心掛けます。

別添	なし
----	----

C区分で事業を実施するに当たっての工夫

【公演団体名

さくらこまち和楽団

】

C区分で事業を実施するに当たっての工夫	<p>①離島・へき地等における公演実績 平成26年(2014)山添村立山添中学校、黒滝村立黒滝小・中学校 平成27年(2015) 邑南町立市木小学校、美作市立大原小学校、岩国市立桂野小学校、山口市立二島小学校 平成30年(2018) 芦北町立内野小学校、唐津市立七山小学校、伊万里市立松浦小学校、小国町立小国小学校、八代市立東陽小学校</p> <p>②離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、小規模な公演であっても公演及びワークショップの質を保つための工夫 C区分では管楽器・弦楽器の数を減らしてプログラムをおこないますが各パート部分を補ったり、アレンジを変えたりなどで対応できます。またキャリアとしても演奏技量は十分なため、質の低下は考えにくいと思います。 児童生徒の少ない学校では、音楽室や、多目的室など体育館以外のスペースでの実施も可能です。</p> <p>③C区分応募における、費用面の工夫 C区分では出演者の数を減らしました。小さな楽器に関してはハンドキャリーにし、箏・太鼓は訪問先の状況に応じてコストのかからない輸送手段を選択します。 ワークショップと本公演を同日開催を前提としたワークショップ内容(短時間で児童生徒が実演できるような指導・教材)にし派遣費用を削減いたします。</p>
---------------------	--

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.2	【公演団体名 さくらこまち和楽団】
プロフィール		<p>磯貝 真紀 (箏・十七弦箏) 5才より倉内里仁に師事。後に沢井忠夫・一恵両師の内弟子となる。国際交流基金の派遣等により約20カ国の音楽祭等で演奏。人気ゲーム「太鼓の達人」他レコーディング多数。</p>
		<p>中しま りん (箏・十七弦箏) 福光玲子、石垣清美に師事。沢井箏曲院講師。ギター、ピアノ等洋楽器とのセッションを得意とし、創作活動も積極的に行う。これまでに5枚のオリジナルアルバムを発売。</p>
		<p>福田 優子 (箏・十七弦箏) 生田流箏曲・地歌三弦を沢井一恵氏、梅岡友紀子氏に、箏組歌を岡村慎太郎氏に師事。箏アンサンブルグループ箏衛門メンバー。沢井箏曲院師範。</p>
		<p>山野安珠美 (箏・十七弦箏) 沢井忠夫・一恵の両氏に師事。文化庁新進芸術家国内研修員を経て、国内外にて活動を展開。様々なアーティストとの共演、TVラジオ出演、舞台音楽やCD録音等多数参加。</p>
		<p>三浦 可栄 (箏・十七弦箏) 第13回賢順記念全国箏曲コンクール第3位入賞。第13回くまもと全国邦楽コンクール奨励賞受賞。沢井箏曲院教師首席合格、会長賞受賞。沢井忠夫、沢井一恵両氏に師事。</p>
		<p>小池 摩美 (箏・十七弦箏) 生田流箏曲を福永千恵子氏に師事。東海大学大学院芸術学研究科修了。沢井箏曲院教師。小池摩美箏教室主催。箏アンサンブル「箏衛門」メンバー。</p>
		<p>神谷 舞 (箏・十七弦箏) 沢井一恵、梶ヶ野亜生両氏に師事。沢井箏曲院教師免状首席登第。コンサートやイベント、テレビ出演等、国内外において演奏活動を展開。さいたま市において箏教室主宰。</p>
		<p>荒井ふみ子 (打楽器) 現代邦楽を西川啓光、長唄邦楽囃子を藤舎華鳳、寿獅子を鈴木恭介に師事。NHK民謡番組「民謡魂」「民謡たずねて」に出演中。汐文社より「和楽器にチャレンジ」執筆。</p>
		<p>櫻井 咲山 (尺八) 東京藝術大学卒業、同大学院修了。現代邦楽研究専攻科卒業。野村峰山(人間国宝)、故初代山本邦山(人間国宝)、故初代石垣征山、各氏に師事。都山流尺八楽会師範。</p>
		<p>中村 仁美 (民謡) 津軽民謡の大家である故「中村隆志」氏を叔父に持ち、19歳の頃より中村民謡優利会に所属し、津軽民謡を学ぶ。全国コンクールにて優勝多数。テレビ・ラジオで活躍中。</p>
	<p>今宮 知佐衣 (津軽三味線) 幼少より津軽三味線、津軽手踊りを始める。全国大会で数々の賞を受賞。テレビ、ラジオ、ライブ、国内外で活動中。</p>	